



<http://www.reconstruction.go.jp/>



復興への道のり

～東日本大震災からの復興の状況と最近の取組～

2017年10月





2011年3月11日、
東日本大震災発生。
そして、復興への取組が始まった。

甚大な被害をもたらした東日本大震災。

被災された方々に寄り添いながら、一日も早い復興をめざして。

私たちは長い道のりを歩み始めました。

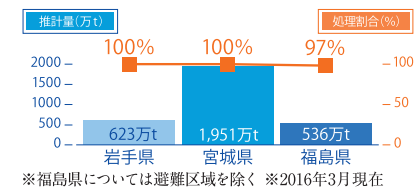


一面に広がる震災がれき。
これを片付けないことには
何も作ることができない。

津波により壊され、町を埋め尽くした無数の建物。まずはこれらを撤去し、
ライフラインや交通網を回復することが、復興に向けての第一歩でした。

災害廃棄物等処理の状況

2014年3月末までに、岩手県・宮城県を含む12道県231市町村において、災害廃棄物及び津波堆積物の処理が完了しました。福島県の一部地域においては、継続して処理を実施しています。





写真提供:南相馬市



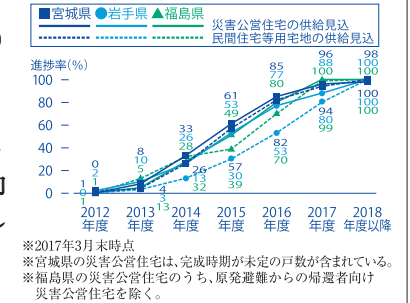
写真提供:七ヶ浜町

住み慣れた家を失った人々。 少しでも早く、落ち着ける住まいを。

暮らしを再建するには何よりも、落ち着いて住み続けられる住まいが必要です。
宅地や住宅の整備を急ピッチで進めています。

災害公営住宅、民間住宅等用宅地(高台移転)の供給見込

2017年度末までに岩手・宮城・福島各県で約46,000戸分の住宅・宅地の整備が完了する予定です。被災者の方々が住まいの再建に向けた見通しを立てられるように、地区単位で詳細な工程表を公表しています。



◀左ページ写真:(上)避難所、(下)仮設住宅



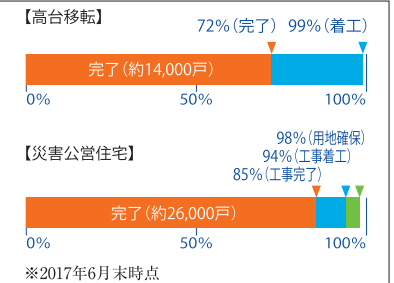
住みたいまちであるために。 みんなのアイデアを形にする。

地域の方々と一丸となって、安心して暮らせるまちづくりや公共インフラの復旧を進めてきました。住まいの再建も着実に進捗しています。

住まいとまちの復興の進捗状況

おおむね計画通りに進捗し、高台への移転*は、計画戸数約20,000戸のうち、約72%が完成、平成29年度までに89%が完成見込みです。災害公営住宅は、計画戸数約30,000戸のうち、約85%が完成、平成29年度までに約96%が完成見込みです。今後も、事業進展に伴う新たな課題に対して迅速に対応していきます。

* 地方公共団体が土地区画整理事業、防災集団移転促進事業及び漁業集落防災機能強化事業により供給する住宅用の宅地。





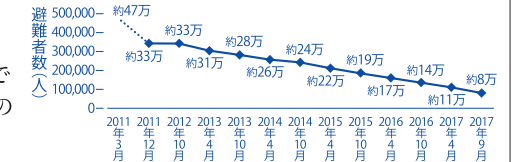
写真提供:大槻町

復興に向けた長い道のりを健康に過ごせるように支えたい。

被災者の方々がすこやかに過ごせるように、ボランティアやNPOの方々に協力いただきながら、心身のケアや生活支援に力を入れています。

避難者数の推移状況

避難している方は、震災直後の約47万人から約8万人まで減っています。恒久住宅への移転が進み、仮設住宅等への入居戸数は減少しています。



※2017年9月時点

生活支援相談員の配置状況

被災者の見守りなどを行うため、被災3県に生活支援相談員等を配置しています。

岩手県	宮城県	福島県
184人	323人	283人

※2017年3月時点



写真提供: 気仙沼市



写真提供: 仙台市



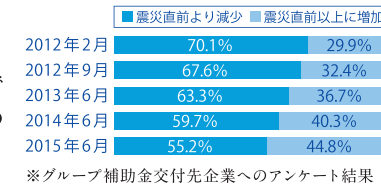
岩手県大船渡市魚市場(平成26年3月完成)

暮らしのために必要な、なりわい。 再建のために力強い支援を。

東北に活気を取り戻すには、水産業や農業、観光業等の回復が欠かせません。
産業の本格復旧に向けて、多彩な支援制度で後押しをしています。

売上水準の変化状況

アンケートによると、44.8%の企業が震災直前の売上水準以上まで回復しています。今後は商業集積や商店街の再生、新産業創造の取組等を推進していきます。



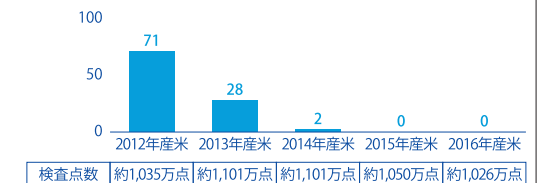


笑顔あふれる福島へ。 さまざまな取組と支援を 一步ずつ着実に。

豊かな自然に恵まれ、おいしい農林水産物にあふれる福島県。
米の全量全袋検査や海水モニタリングなど、
食の安全を確保する数々の取組が進められています。

福島県における米の全量全袋検査 の取組

福島県における米の全量全袋検査の結果、2015年産米
以降は基準値(100Bq/kg)を超過したものはゼロとなっ
ています。



※ふくしまの恵み安全対策協議会放射性物質検査情報



写真提供:福島洋上風力コンソーシアム



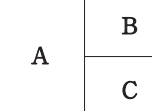
「新しい東北」の創造に向かって、 新たな挑戦が始まっている。

東北をただ震災前の状態に戻すのではなく、復興を契機にさまざまな課題を解決し、日本や世界のモデルにするための取組がいま、進められています。

「新しい東北」の事業事例

- A / 世界最先端の技術開発・実証研究が進む浮体式洋上風力発電設備(福島県沖)
- B / 売電益で再生可能エネルギー普及を推進する福島空港メガソーラー(福島県)
- C / クリーンルームを活用した、人工光と水耕栽培によるレタス工場(福島県)

左ページ写真





元気な東北をめざして、
私たちは未来へと歩み続ける。

